

# “ファミリーシリーズ”

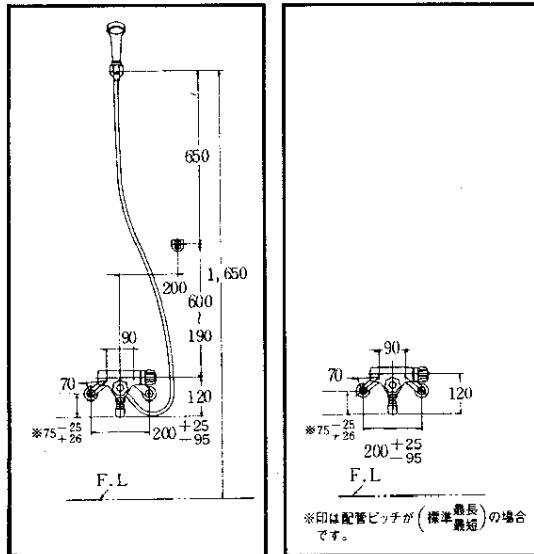
## サーモスタットシャワー金具

### 混合栓取付説明書

#### 完成図

一般用 (TM145CGR)  
寒冷地用(TM145CGRZ)

(TM45AGR)  
(TM45AGRUZ)  
(TM45AGRWZ)



\*品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

#### 使用条件

##### 1. 使用水圧

###### (1) 瞬間型給湯機と組合わせる場合

給水圧力	{ 最低必要水圧……(下表参照)
	最高水圧……………6.0kgf/cm <sup>2</sup>

器具入口部における最低必要水圧 (kgf/cm<sup>2</sup>)

給湯機タイプと号数		最低必要水圧		
		普通シャワー	マッサージ	ソフト
従来タイプ	8号	—	—	—
	10号	—	—	—
	12号	A+1.1	A+1.5	A+1.6
比 例 制 御 例 制 御 タ イ プ 壁面方式	10号	—	—	—
	16号	0.8	0.9	1.0
	20号	0.8	0.9	1.1
トリコン 壁面方式 (トリコン・ コントラクト・ アクティ・ イ・ アクティー)	16号	0.7	0.8	1.0
	20号	0.8	0.9	1.0
	24号	0.6	0.7	0.9
TOTO コマンド	アクティ・31	0.6	0.7	0.9
	32号	0.6	0.7	0.8
	16号	0.6	0.7	0.9
	24号	0.6	0.7	0.9

注) TOTO カスタムシリーズでは、給湯機の温度を60°Cにした場合、表中の数値より0.2kgf/cm<sup>2</sup>多く必要になります。

表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。  
(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

##### 〈設定条件〉

- 切換ハンドルは全開
  - 給湯機温度調節は最高温に設定
  - シャワー吐水温度：42°C
  - 給湯配管長さ：5m
- a) 従来タイプの場合
- 給湯機が着火する下限の圧力とする。
  - 水温の高い(25°C)夏期に着火させることを想定。
- b) 比例制御タイプの場合
- 水温の低い(5°C)冬期に約8ℓ/min(ソフトシャワーは9ℓ/min)の吐水流量を確保するのに必要な圧力とする。

##### (2) 貯湯式給湯機と組合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力……0.5kgf/cm<sup>2</sup>  
最高圧力……………6.0kgf/cm<sup>2</sup>

給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。

給水圧力が6.0kgf/cm<sup>2</sup>を超える場合は、市販の減圧弁で2.0kgf/cm<sup>2</sup>程度に減圧してください。

2. 給湯温度は使用する温度より10°C以上高くしてください。

3. 給湯に蒸気を使用しないでください。

4. 湯・水を逆配管しないでください。

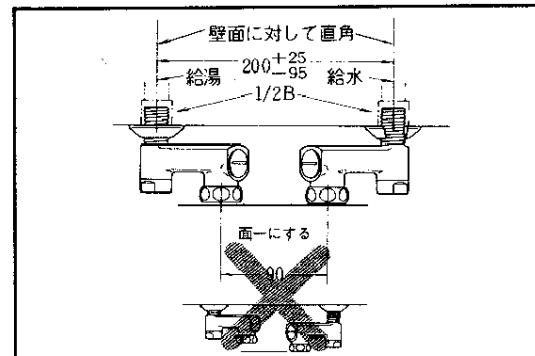
なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。配管後は必ず保溫材を巻いてください。

#### 器具の取付け

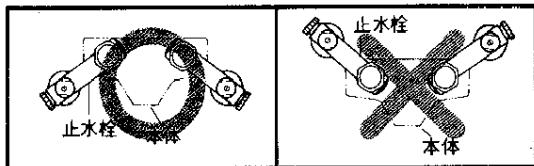
##### 1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

##### 2. 止水栓の取付け



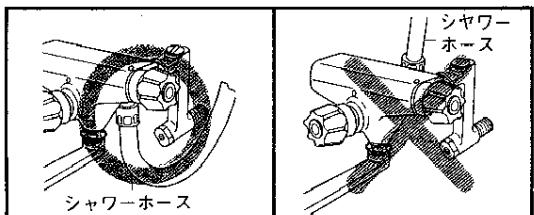
\*止水栓の取付位置が本体よりも上になるとストレーナの着脱ができません。また寒冷地用の場合は水抜きができませんので必ず下になるよう取付けてください。



### 3. シャワー ホース の 取付け (シャワー金具の場合)

- 本体を止水栓に接続する前にシャワー ホースを本体に取付けてください。
- シャワー ホースは止水栓の下から取り出してください。

特に寒冷地用の場合は止水栓の上から取り出されると水抜きができなくなります。



## 温 度 調 節

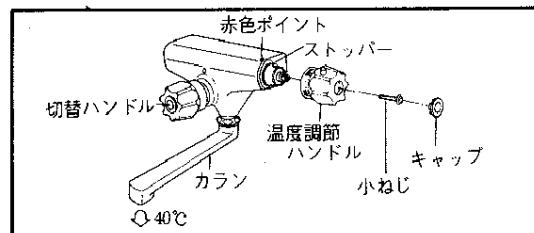
工場で温度調節をしていますが取付現場の圧力状況などによって、目盛通りの吐水温度にならない場合があります。その場合は次の要領で調節してください。

調節する前に次のことを確かめてください。

- (a)止水栓は全開になっているか。
- (b)ストレーナのごみづまりはないか。
- (c)十分な温度の湯がきているか。

#### ● 調節要領

- (1)カランより吐水させて温度調節ハンドルの目盛に関係なく40°Cの湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す。なお、高温側へ回すときは安全ボタンを押してください。
- (2)その位置で温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ、小ねじを外しハンドルを抜きとる。なお、ストッパーが外れたときは分解と点検の項に示す位置に正しくはめてください。



- (3)温度調節ハンドルの“40”的文字を赤色ポイントに合わせてハンドルをはめ、小ねじで固定しキャップをはめてください。

## ストレーナの掃除

ストレーナがつまると吐水量が少なくなったり水又は熱湯しか出なくなるなど、機能が十分に発揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。

また、お客様にもときどき掃除していただくようご指導願います。

注) カラー塗装品の場合は表面が傷つきやすいので必ず付属の開閉工具をご使用ください。

## お 手 入 れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. ふだんは柔らかな布でふき、ときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意すること。
2. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので、使用しないこと。もし、タイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分に水洗いすること。

## 寒冷地用の水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作とあわせて付属の水抜方法ラベルの要領で水抜きをしてください。又お客様にも水抜き方法をご指導ください。

- (1)切換ハンドルをカラン側に回す。
- (2)本体の水抜コックを全て開く。
- (3)温度調節ハンドルを“H”に合わせ、カラン及び水抜コックから水が出なくなってから、ハンドルを“C”側いっぱいに回す。
- (4)切換ハンドルをシャワー側に回す。
- (5)ホース根元の水抜コックを開く。
- (6)ホース内の水を抜き、シャワー ヘッドを振って中の水を抜いてから床に置く。

## 分解と点検

取付後万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

